
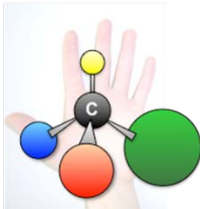



整理番号	HT28001	分野	化学・医歯薬学	キーワード: 生命と分子
------	---------	----	---------	--------------

北海道大学

「調味料で光をねじる！！」－ 3Dメガネの原理？ －

先生(代表者)	門出 健次(もんで けんじ)大学院先端生命科学研究院・教授			
自己紹介	よく外国人に間違われ英語で話かけられたりしますが、日本人です。 専門分野は有機化学、化学生物学です。炭素の学問である有機化学の言葉をつかって、生物の謎を解明しています。特に、生き物の分子が持つキラリティーという性質に興味を持っています。学生時代は、テニスをしていました。最近、健康のため、毎朝ウオーキングをしています。			
開催日時・主な募集対象	平成 28年 7月 30日(土)	(対象)	中学生・高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)(次世代物質生命科学研究センター)		(集合時間)	9:30
開催会場	住所: 〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 11 丁目 アクセスマップ: http://altair.sci.hokudai.ac.jp/frontier-pst/?page_id=105			
内 容				
<p>内容</p> <p>調味料で有名な L-グルタミン酸ナトリウムは、うまみの成分(Umami は英語になっている)。この分子を鏡に映した D-グルタミン酸ナトリウムは、実はにがいのです。同じ構造なのになぜ?? 生物がもつこの特有の性質をキラリティーといい、私たち人間はこれを認識する能力があります。このキラリティーは普通の分析方法では、区別することは難しいのですが、光を使うと簡単に区別することができます。このプログラムでは、簡単な装置を使って、物質によって光をねじることを観測しましょう。こういったキラリティーという性質は、薬などの開発にはとても、重要なことです。また、身近では、映画館で使われる3Dメガネ等に应用されています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>L-グルタミン酸ナトリウム</p> <chem>NC(CCC(=O)O)C(=O)[Na]</chem> <p>うまい</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>D-グルタミン酸ナトリウム</p> <chem>NC(CCC(=O)[O-])[Na]C(=O)O</chem> <p>にがい</p>  </div> </div>				

スケジュール		持 ち 物
9:30～9:45	受付開始、開場(北海道大学理学部生物科学科 高分子機能学(次世代物質生命科学研究センター))	筆記用具
9:45～10:00	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)	
10:00～10:45	教員によるセミナー(実験原理など)	特記事項
10:45～11:45	実験(試料調製、旋光計の作成)	
11:45～13:30	研究施設見学・昼食	
13:30～15:00	実験(様々な試料の旋光度測定)、体験学習、休憩	
15:00～15:30	実験結果の考察・解説	
15:30～16:15	クッキータイム、大学院生との交流、 アンケートの実施	
16:15～16:30	修了式(未来博士号授与)	
16:30	解散	

《お問合せ・お申込先》

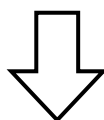
所 属 ・ 氏 名 :	大学院先端生命科学研究院・門出健次
住 所 :	〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 11 丁目 北海道大学 大学院先端生命科学研究院 次世代物質生命科学研究センター 4F
T E L 番 号 :	011-706-9041
F A X 番 号 :	011-706-9540
E - m a i l :	monde.lab_office@sci.hokudai.ac.jp
申 込 締 切 日 :	平成28年 6月 30日(木)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月15日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
門出健次	H27-30	基盤研究 (B)	15H03111	ポリエステル系ペプチドミミックを指向したVCDによるバイオポリマー立体構造解析法



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。